

HKKR-06



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0011864

# 環境経営レポート

## 日本フイルター株式会社

# || NiF

## 第68期

【活動期間：2022年10月1日～2023年9月30日】



2024年01月17日 発行

# 目次

---

1. 組織の概要	2
1) 登録事業所の概要	
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業規模	
2. 対象範囲	3
3. 実施体制	4
4. 環境経営方針	5
5. 環境経営目標	6
6. 環境活動計画	7
7. 運用実績	8
8. 主要な環境活動の内容及び取組結果の評価	10
9. 環境関連法規への遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
1) 環境関連法規等の遵守状況	
10. 販売製品による環境への貢献	12
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	14
12. 主な活動内容	15

# 1. 組織の概要

---

## 1) 登録事業所の概要

### (1) 事業者名及び代表者名

事業所名：日本フィルター株式会社

代表者名：代表取締役 橋本 ひろみ

### (2) 所在地

①本 社 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町 2107-3

②仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央 1-23-6 トラストセンタービル 4階南

③名古屋営業所 愛知県名古屋市緑区南大高 2-115 Prosbell 南大高 2階

④大阪営業所 大阪府茨木市宮元町 7-22 仲辻ビル 2階

⑤熊本営業所 熊本県熊本市東区沼山津 1-10-24

⑥米沢事業所 山形県米沢市八幡原 3-446-10

※日本フィルター株式会社 米沢事業所は EA21 認証登録済みの為、本社・営業所取得には含めず。  
認証・登録番号 0001461

### (3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：総務部本社総務課 課長 渡辺重明

連絡先 : TEL) 045-811-1532 FAX) 045-813-7735

E-mail) s.watanabe@nihon-filter.co.jp

### (4) 事業内容

- ・精密ろ過機の設計・販売
- ・純水製造装置の設計・販売
- ・排水リサイクル装置の設計・販売
- ・装置メンテナンス

### (5) 事業規模

会計年度：当年10月1日～翌年9月30日

項目	単位	第66期	第67期	第68期
		20.10-21.09	21.10-22.09	22.10-23.09
売上高	百万円	3,066	3,401	3,477
従業員数	人	91	84	87

※期末人員数（米沢事業所除く）

## 2. 対象範囲

---

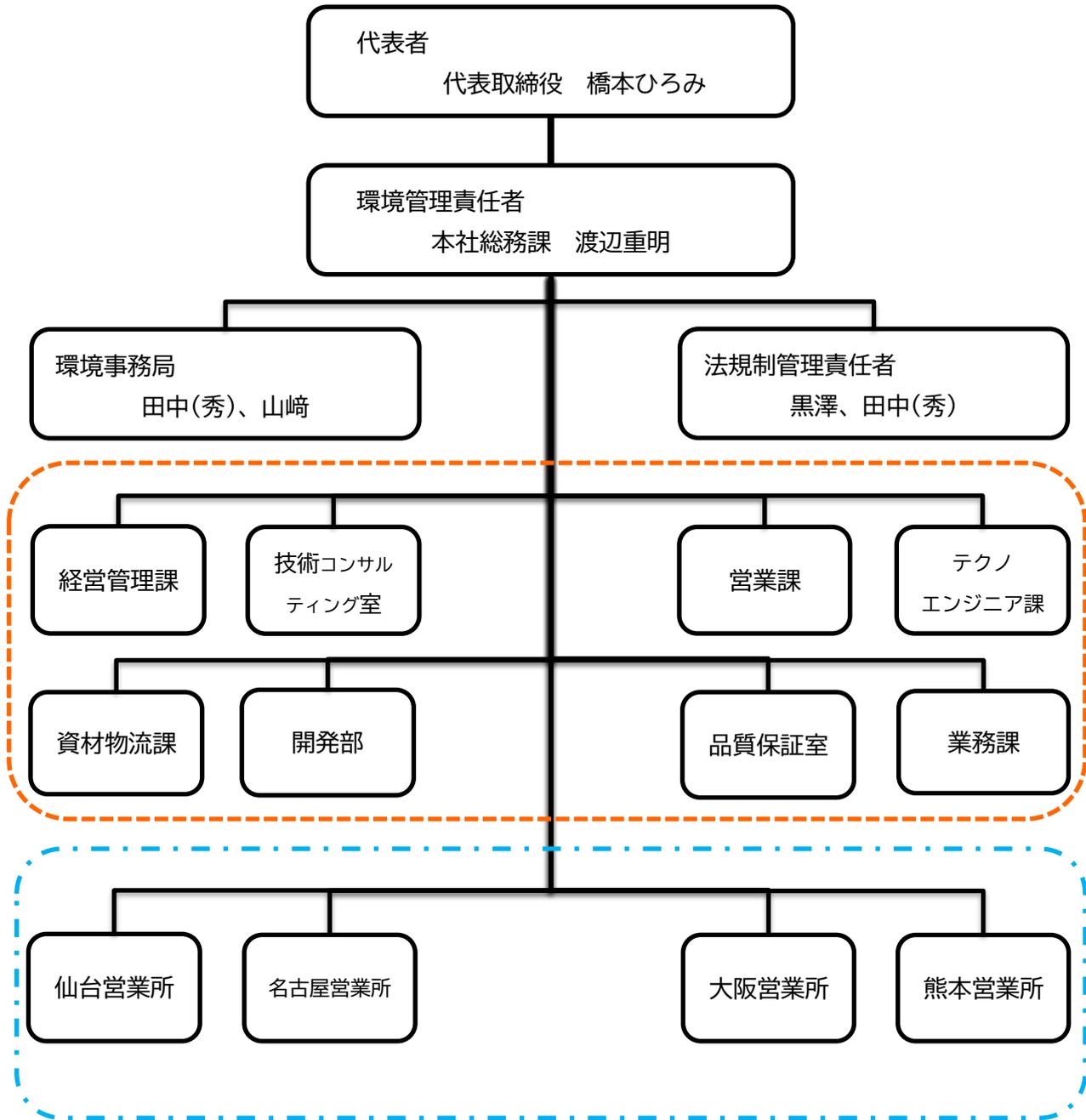
本社及び4営業所

※日本フィルター株式会社 米沢事業所は EA21 認証登録済みの為、本社・営業所取得には含めず。  
認証・登録番号 0001461

### 3. 実施体制

#### 環境マネジメントシステム

##### 実施体制-組織



□ は本社、 □ は営業所

## 4. 環境経営方針

---

### 【企業理念】

私たち日本フィルター株式会社は、水処理技術と精密ろ過技術を通して、かけがえのない地球の水環境を護る製品を世の中に送り出すと同時に、研究開発・設計・販売・アフターフォローにいたるまで、総合メーカーとしての自覚と責任を持って、地球環境を護る配慮を継続して行います。

### 【環境方針】

当社の企業理念に基づき、排水リサイクル装置、精密ろ過装置、純水製造装置及びその周辺機器等の研究開発、設計、販売、メンテナンス及び入出荷業務やその他の管理業務など、一貫した事業活動を通じ環境保全に取り組めます。

また、その取組を継続的なものにするため、企業そのものの存続を確実にするための経済的な利益創出との両立に全力を上げて取り組めます。

1. 環境活動プログラム「エコアクション21」を運用し、全社員が参加して環境活動の継続的な維持、改善を推進します。
2. 全拠点の活動を通じ、環境に与える影響を的確に捉え、技術的、経済的に可能な範囲で目標を定め、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
3. 環境に関する法規及びその他の要求事項を遵守し、地域社会との調和に努めます。
4. 全拠点の事業活動における環境負荷の削減及び改善をはかるために、次の事項について重点的に取り組めます。
  - 1) 二酸化炭素排出量の削減
  - 2) 廃棄物の発生抑制と分別収集の徹底
  - 3) 水資源の保護
  - 4) グリーン調達推進
  - 5) 地域社会との共生
5. 社員への環境方針の周知と環境意識の向上をはかり、環境方針及び環境活動報告は開示します。

2018年10月1日  
日本フィルター株式会社  
代表取締役 橋本 ひろみ

## 5. 環境経営目標

No.	テーマ	基準値 第67期 21.10-22.09	目標値 第68期 22.10-23.09	目標値 第69期 23.10-24.09	目標値 第70期 24.10-25.09
1	電気使用量	222,952kWh	基準値の0.5%削減 221,837kWh以下	基準値の1%削減 220,722kWh以下	基準値の1.5%削減 219,608kWh以下
2	二酸化炭素 排出量の削減	ガソリン 35,208L	基準値の0.5%削減 ガソリン 35,032L以下	基準値の1%削減 ガソリン 34,856L以下	基準値の1.5%削減 ガソリン 34,680L以下
		軽油 8,027L	基準値の0.5%削減 軽油 7,987L以下	基準値の1%削減 軽油 7,947L以下	基準値の1.5%削減 軽油 7,907L以下
3	総排出量	212,294kg-CO <sub>2</sub>	基準値の0.5%削減 211,233kg-CO <sub>2</sub> 以下	基準値の1%削減 210,176kg-CO <sub>2</sub> 以下	基準値の1.5%削減 209,125kg-CO <sub>2</sub> 以下
4	一般・産業廃棄物 排出量の削減	5,269kg	基準値の0.5%削減 5,243kg以下	基準値の1%削減 5,216kg以下	基準値の1.5%削減 5,190kg以下
5	総排水量の削減	924m <sup>3</sup>	基準値の0.5%削減 919m <sup>3</sup> 以下	基準値の1%削減 915m <sup>3</sup> 以下	基準値の1.5%削減 910m <sup>3</sup> 以下
6	環境製品水資源機器 販売拡大	-	販売拡大 (7台以上)	販売拡大 (7台以上)	販売拡大 (7台以上)
7	環境製品Zスキャン スラッジ量の削減	-	販売拡大 (30社以上)	販売拡大 (30社以上)	販売拡大 (30社以上)
8	清掃活動	毎週社外清掃	毎週社外清掃	毎週社外清掃	毎週社外清掃

※基準値は第67期実績

## 6. 環境経営計画

環境活動計画の内容	実行責任者	確認
<b>●販売製品による環境への貢献</b>		
環境製品水資源機器販売拡大（販売7台以上）	生産部	年
環境製品Zスキャン スラッジの削減量（販売30社以上）	テクニカルセンター	年
<b>●電力使用量の削減</b>		
空調の適温化の徹底（暖房23℃、冷房26℃以上）	総務課	毎月
デマンド監視による節電の実施（本社）	総務課	毎月
昼休み等、不必要時の消灯の徹底	総務課	毎日
エレベーターの使用制限	社員	都度
<b>●燃油使用量削減</b>		
燃費量の把握、急発進、急減速の抑制、アイドリングストップの励行	車両管理者	毎月
<b>●廃棄物排出量の削減</b>		
用紙の分別及びリサイクル化の徹底、	総務課	毎月
廃棄物の分別の徹底、OA用紙使用量の削減	社員	毎月
<b>●清掃活動</b>		
毎週会社外周清掃	社員	毎週
<b>●水使用量の削減</b>		
節水意識の徹底（表示）、手洗い場水道、	総務課	都度
トイレの洗浄水量の管理		

## 7. 運用実績

項目	単位	第66期	第67期	第68期	目標値との比較	達成状況	
		20.10-21.09	21.10-22.09	22.10-23.09		是正措置	
人数	人	91	84	87			
環境製品水資源機器販売拡大		-	-	7台	100%		
環境製品Zスキャンスラッジ量の削減		-	-	37社	123%		
電気 使用量	絶対値	kWh	200,955	222,952	214,539	221,837	
	人頭		2,208	2,654	2,466	-7,298 (3%削減)	
ガソリン 使用量	絶対値	L	39,926	35,208	36,195	35,032	
	人頭		439	419	416	1,163 (3%増加)	
軽油 使用量	絶対値	L	7,915	8,027	7,270	7,987	
	人頭		87	96	84	-717 (9%削減)	
灯油 使用量	絶対値	L	250	190	265	(目標値なし)	
	人頭		3	2	3	-	
水 使用量	絶対値	m <sup>3</sup>	948	924	991	919	
	人頭		10	11	11	72 (8%増加)	
CO <sub>2</sub> 排出量	絶対値	kg-CO <sub>2</sub>	209,527	212,294	207,598	211,233	
	人頭		2,302	2,527	2,386	-3,635 (2%削減)	
一般 排出量	絶対値	kg	1,445	1,429	1,575	(目標値なし)	
	人頭		16	17	18	-	
産廃 排出量	絶対値	kg	3,145	3,840	4,390	5,243	
	人頭		35	46	50	-853 (16%削減)	
化学物質量削減	L	適正に管理し、定期的確認した。	適正に管理し、定期的確認した。	適正に管理し、定期的確認した。	(目標値なし)	-	

### 是正措置

■ガソリン：仕事量増加（走行距離）により未達成になりましたが、引き続きエコ運転等に努める。

■水：実験による使用量の増加でしたが、引き続き節水活動に心がけます。

■産廃：仕事量増加により増えましたが、引き続き削減に努めます。

※電気・ガソリンは本社・営業所全ての合計、水は本社・熊本営業所のみ、化学物質量は本社のみ

※軽油はディーゼル車両を有する本社・仙台営業所・大阪営業所のみ

※産業廃棄物排出量のうち、本社は現場工事で発生した廃棄物を一部持ち帰っている（営業所では原則発生しない）

## 二酸化炭素の排出量の削減

		第66期		第67期		第68期		要因
		20.10-21.09		21.10-22.09		22.10-23.09		
項 目	排出	消費量	排出量	消費量	排出量	消費量	排出量	(第67期との比較)
	係数		(kg-CO <sub>2</sub> )		(kg-CO <sub>2</sub> )		(kg-CO <sub>2</sub> )	
電力(本社) 消費量kWh	0.455	169,764	77,243	190,568	86,708	183,403	83,448	節電対策の習慣化
電力(仙台) 消費量kWh	0.528	7,272	3,840	7,361	3,887	7,574	3,999	大きな変化なし
電力(名古屋) 消費量kWh	0.452	6,284	2,840	6,642	3,002	6,341	2,866	節電対策の習慣化
電力(大阪) 消費量kWh	0.45	9,706	4,368	10,562	4,753	10,058	4,526	大きな変化なし
電力(熊本) 消費量kWh	0.347	7,929	2,751	7,819	2,713	7,163	2,486	節電対策の習慣化
ガソリン 消費量L	2.32	39,926	92,628	35,208	81,683	36,195	83,972	仕事量の増加
軽油 消費量L	2.58	9,781	25,235	8,027	20,710	7,270	18,757	遠方への出張が減少
灯油 消費量L	2.49	250	622	190	473	265	660	
合計			209,527		203,929		200,714	

※ガソリン・軽油・灯油は本社・営業所全ての合計（灯油は本社のみ使用している）

※電力算出に使用した係数は、環境省「電気事業者別排出係数（地方公共団体実行計画における温室効果ガス総排出量算定用）」を利用

本社：2018年度（平成30年）東京電力の排出係数実績 0.455(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

仙台：2018年度（平成30年）東北電力の排出係数実績 0.528(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

名古屋：2018年度（平成30年）中部電力の排出係数実績 0.452(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

大阪：2018年度（平成30年）中央電力の排出係数実績 0.450(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

熊本：2018年度（平成30年）九州電力の排出係数実績 0.347(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

※温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン（2015年環境省）ガソリン、軽油、灯油

※五捨五超入

## 8. 主要な環境活動の内容及び取組結果の評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境活動計画の内容		実施状況	評価	次年度
6. 環境製品水資源機器販売拡大		7台販売	○	継続
7. 環境製品Zスキャン スラッジの削減量		37社に販売	○	継続
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減 ①空調の適温化の徹底 ②デマンド監視による節電の実施 (本社のみ) ③昼休み等、不必要時の消灯の徹底 ④営業所事務所電灯のLED化 ⑤エレベーターの使用制限(本社のみ) ⑥パソコン画面15分電源オフ設定 ⑦トイレ便座を閉じる	空調、デマンド値、昼電気は 総務課にて確認。 ④LEDについては費用面も有り 今後の検討とする。	○	継続
	燃油使用料削減 ①燃費量の把握 ②急発進、急減速の抑制 ③アイドリングストップの励行	燃費確認し急発進、急減速の 抑制を実行している。	—	継続
廃棄物排出量の削減 ①廃棄物の分別の徹底 (排出時の計量の実施) ②OA用紙使用量の削減 (両面コピー、電子化等) ③用紙の分別及びリサイクル化の徹底 (1ヶ月毎に計量) ④事務所内プラスチック廃棄物の分別		紙、プラスチックについては 毎月計量確認。	○	継続
清掃活動 ①毎週会社外周清掃(本社)		チェック表にて確認	○	継続
水使用量の削減 ①節水意識の徹底(表示) ②手洗い場水道、トイレの洗浄 水量の管理		総務課にて表示、調整	○	継続

数値項目については毎月インフォメーションにて管理者に配布。

(電気・水道・デマンド値・燃費・ゴミ重量等)

## 9. 環境関連法規への遵守状況の確認及び評価の結果

### 並びに違反、訴訟等の有無

#### (1) 環境関連法規等の遵守状況

適用される法規制	遵守状況	遵守評価
廃棄物処理法	マニフェストにより確認	○
消防法	防火責任者の専任済 避難訓練実施	○
労働安全衛生法	安全、衛生管理者の選出、届出済	○
省エネルギー法	指定対象外	○
家電リサイクル法	期日内対象品なし	—
フロン排出抑制法	業務用空調機	○
下水道法	特定施設の届出、水質測定記録	○
P R T R法	一定基準以上であれば届出	○

当社における環境関連法規への違反・訴訟・苦情等、過去3年ございませんでした。

## 10. 販売製品による環境への貢献①

排水用のリサイクル装置を販売することにより、工場で発生する排水を再利用し、水資源の使用量の削減に取り組んでおります。

第68期においては、6社に対して7台の装置を販売し、推定59,530m<sup>3</sup>の水使用量の削減となりました。

※販売した装置が、一年間稼働した場合の水資源の削減見込量を示しております。



浮遊床式イオン交換装置  
クリーンフローRC



固定床式イオン交換装置  
オートライナーRC

過去3期の実績は下記となります。

第67期 73,880m<sup>3</sup>

第66期 82,800m<sup>3</sup>

第65期 7,180m<sup>3</sup>

■目標販売台数7台に対して、7台販売し目標達成



## 10. 販売製品による環境への貢献②

排水処理において、排水中の懸濁物質（SS）を凝集させるために鉄・カルシウムなどの助剤を使用しますが、この助剤を投入することでスラッジ（汚泥）の量が増え、廃棄物量が増大してしまいます。

これに対し、当社では「Z スキャン」という排水処理剤を開発し、従来、処理が難しかった難処理排水に対しても排水規制値をクリアーできるレベルまでの処理を可能にしました。

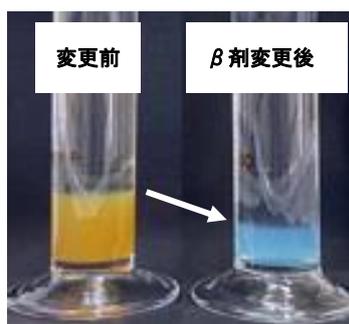
同時に、「Z スキャン」は鉄・カルシウムなどの助剤を使用しなくても処理が可能のため、処理後のスラッジのボリュームを減らすことが可能となりました。

排水の種類により、20%から50%もの汚泥の減容化に成功しています。

第68期においては37社に「Z スキャン」を販売し、従来処理と比較して255 ton ものスラッジ量削減<sup>※</sup>を行うことができました。

※平均スラッジ削減率は30%で、一年間稼働した場合のスラッジの削減見込量を示しています。

（条件：排水量10 m<sup>3</sup>/h，排水濃度0.3 kg/m<sup>3</sup>，スラッジ含水率75%）



スラッジボリュームの変化

スラッジ（SS量）の削減例

	変更前	β剤変更後	予想削減率 (%)
A社	0.31	0.21	32
B社	1.06	0.53	50
C社	0.61	0.48	21
D社	0.68	0.41	39

単位：kg/m<sup>3</sup>

過去3期の実績は下記となります。

第67期	158 ton
第66期	165 ton
第65期	165 ton



## 11. 代表者による全体評価と見直しの結果

---

本社・営業所は事務部門が主体ですが、本社敷地内には排水処理装置の組立工場があるなど、一部に製造部門が混在しています。しかし、人手による組立工場のため、エネルギー消費量はそれほど大きくありません。

今期の実績としては、電気使用量と軽油使用量は目標値に対して削減できているものの、ガソリン使用量と水使用量は増加しています。コロナ禍からの経済活動の回復状況を踏まえて、各項目のデータ分析を再度行って、基礎となる適正な目標数値を把握していく必要があると考えます。

また今期は、全社でSDGsに取り組む1年として、部署毎にSDGsの基本を勉強し、それぞれの目標を掲げて活動をしてきました。特に開発や研究など技術的な部署では、環境負荷を減らす製品開発を目指し、その他の部署も自分たちで考えた内容でそれぞれの取り組みを行ってきました。

会社全体としては、本社ビル屋上への太陽光発電設備の導入を目標として準備を進め、間もなく設置が完了して発電が開始される状況となり、今後は更なるCO<sub>2</sub>の削減が見込まれていくこととなります。

環境経営への取り組みとして、販売製品による環境への貢献として、昨年より環境経営レポートに記載した排水用リサイクル装置による水資源の削減に加えて、排水用特殊処理剤によるスラッジ量の削減についても見込量を示し、今後はこれらを環境経営計画に取り込んで活動していくこととしました。

外部からの苦情及び環境関連法令への違反はありませんでした。

環境経営方針に変更はありません。

環境経営計画には、自社販売製品による環境への貢献を追加しました。

実施体制に変更はありません。

## 12. 主な活動実績

### ◆節電活動（本社・4営業所エアコン温度設定）

	<p>冷房設定は事務所26°C以上、会議室27°C以上。 暖房設定は23°C以下。</p>		
<table border="1"><tr><td data-bbox="1038 551 1235 745">7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに </td><td data-bbox="1235 551 1434 745">13 気候変動に 具体的な対策を </td></tr></table>		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 		

### ◆節電活動（本社エアコン更新）

	<p>20年9月エアコン更新、電気使用量の少ないものに変更 (試算では電気量を年間16%削減) (人感センサー搭載に伴い、下記羽の使用を見送った)</p>		
<table border="1"><tr><td data-bbox="1038 1223 1235 1417">7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに </td><td data-bbox="1235 1223 1434 1417">13 気候変動に 具体的な対策を </td></tr></table>		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 		

### ◆節電活動（本社エアコン効率改善）

	<p>風を拡散し部屋内の温度差を無くす。 (20年9月より、事務所で使用していたが、エアコン更新に伴い会議室等に移設)</p>		
<table border="1"><tr><td data-bbox="1038 1756 1235 1951">7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに </td><td data-bbox="1235 1756 1434 1951">13 気候変動に 具体的な対策を </td></tr></table>		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	13 気候変動に 具体的な対策を 		

◆節電活動（本社デマンド値）

<p>◆節電活動（デマンド値）</p> 	<p>デマンド監視装置を設置して急激な電気使用を抑制する。</p> 
---	---

◆節電活動（本社エレベーター使用禁止）

	<p>社員のエレベーター使用禁止 （台車使用時、重量物の運搬時は除く）</p> 
--	---

◆節電活動（本社・4 営業所照明消灯）

	<p>日中使っていないエリア（会議室、廊下等）は消灯。 昼休みは事務所内も消灯。</p> 
---	--

### ◆節電活動（LED）



2014年9月より本社蛍光灯 280 本を LED に変更

（一部利用頻度が少ない部分については蛍光灯）

年間約 13kW 節電



### ◆節電活動（パソコンモニター）

#### 電源とスリープ

#### 画面

次の時間が経過後、ディスプレイの電源を切る（電源に接続時）

15分



離席時等（昼休みや会議・来客など）パソコンから長時間離れる際は、モニターの電源をOFFにする、ノートパソコンの場合は蓋を閉じるようにする。

基本は手動（設定は15分にて省エネモード）



◆節電活動（トイレ温度設定等）



便座カバー・ウォシュレット温度設定期間  
5月11日から10月10日までは温オフ  
10月11日から翌年5月10日まで温オン

便座カバーを閉める  
便座カバーを閉め冷めないようにして節電する。



◆節水活動



2015年10月より社内水場に表示



◆廃棄物排出量の削減（本社紙リサイクル活動）



コピー用紙、色紙、茶紙の3種類について分別。

毎月第一週目金曜日に片付け、重量計測。



◆廃棄物排出量の削減（本社廃プラリサイクル活動）



毎月第一週金曜日に片付け、重量計測。

一般ごみ、廃プラスチックに分類。



◆清掃活動（本社）



会社外周を各課持ち回りにて毎週清掃。



◆各営業所分別場所

	<p>仙台営業所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div> <p>可燃ごみ、ペットボトル・缶・ビン、プラスチ ック、新聞、段ボール、雑誌に分類。</p>
	<p>名古屋営業所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div> <p>業務用可燃、業務用不燃、家庭用可燃、新聞、 雑誌、段ボール、プラスチック、ペットボト ル、缶、ビンに分類。</p>
	<p>大阪営業所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div> <p>一般ごみ、紙、プラスチック、段ボールに分 類。</p>
	<p>熊本営業所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div> <p>可燃物、新聞、缶、ペットボトルに分類。</p>

◆各種回覧データ

<p>①第61期-62期 本社ビル・電気使用量データ</p> <p>第61期 電気使用量(kWh)</p> <p>第62期 電気使用量(kWh)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本社ビル</td> <td>11,264</td> </tr> <tr> <td>...</td> </tr> </tbody> </table>	項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	本社ビル	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	<p>2015年10月より本社・4営業所の毎月電 気、水道、プリンター使用量、紙リサイクル、プ ラスチック重量データ、社用車燃費をグラフにま とめ社内回覧している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div>
項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月																														
本社ビル	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264	11,264																														
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...																														